

2018

# シルバー久喜

第8号

発行 公益社団法人久喜市シルバー人材センター（普及啓発部会）

久喜市鷲宮6-1-6 TEL 58-3677 FAX 57-1800 <http://webc.sjc.ne.jp/kukisc/index> Eメール [kukisc@sjc.ne.jp](mailto:kukisc@sjc.ne.jp)



謹賀新年

戌年

色鉛筆画：神山幸子会員（久喜地区）

埼玉県シルバー人材センター連合マスコット



いきいきさん



はつらつさん

**シルバー人材センター基本理念**

自主	センターを私たちのものとして考えます
自立	センターを私たちの力で育てます
共働	私たち会員は共に仲良く働きます
共助	私たち会員は互いに助け合います

# 年頭のあいさつ



理事長 齋藤忠雄

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様にはご家族おそろいで、お健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。皆様はじめ、市民の皆様、申し上げます。皆様はじめ、市民の皆様、市内事業所の皆様、市関係部署の皆様方におかれましては、久喜市シルバー人材センターの運営に多大なるご理解、ご協力を頂いておりますことに厚く御礼申し上げます。昨年は大型の台風が全国各地に大きな被害を与える等、気候変動の怖さを痛感しました。産業界では日本企業の信頼を損なうような製品検査データの改ざん、無資格者による車両完成検査の発覚があり、世界情勢の変化等でも将来不安が感じられますが、総選挙があり安定政権がスタートしましたので安全で安心な舵取りを期待したいものです。

安倍首相は「柔軟かつ多様な働き方とし

て、高齢者の皆さんに多様な就業機会を提供する。シルバー人材センターには更にその機能を発揮し、あらゆる人が生きがいを持って社会で活躍できることが力強い成長につながるはず」と言われています。

2020年の東京オリンピックの開催も就業の拡大、会員の拡大、派遣契約の推進等、センターにはプラスに働くはずです。期待して頑張りましょう。高齢化社会が急速に進展する中、働くことを通じて生きがいと健康づくりを進め、経験と知恵を活かし、より良い地域社会づくりにさらに貢献して参りましょう。そして関係する市の各部署、企業発注者様や市民の皆様から、期待され、信頼される元気な高齢者が活躍する街、久喜市シルバー人材センターを目指しましょう。

これらは会員の皆様が良い仕事を丁寧に行い大事にすること、仲間を大切に思いやること、共同作業ではチーム力を発揮できること、そして安全適正就業を徹底できることが必要です。当センターとして本年は新しい安全文化（安全を最優先する個人、企業、団体、社会の風土等）構築の二年目

となります。会員の皆様のさらなる安全意識の向上に向けて、安全な作業の徹底を重ねてお願いいたします。安全パトロールの実施、安全研修会の実施等も引き続き推進して参ります。

結びに当たり会員皆様のご健勝と一層のご活躍、並びに本年が皆様にとり、幸多き年となりますよう心より祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。





久喜市長 田中暄二

あけましておめでとうございます。

公益社団法人久喜市シルバー人材センター会員の皆様におかれましては、ご家族お揃いでお健やかに、輝かしい初春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

シルバー人材センターでは、高齢者の就業機会の確保・拡大などへの積極的な取り組みや、ボランティア活動をはじめとするさまざまな社会参加を通じて、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の福祉の向上、活性化に貢献いただいております。深く感謝を申し上げます。

さて、昨年はスポーツなどで記録に残る年となりました。

14歳のプロ棋士藤井四段の公式戦連勝記録の更新、大相撲の横綱白鵬の通算勝利記録の更新、高校野球では、花咲徳栄高校が埼玉県初の甲子園優勝を果たし、清宮選手が歴代最多のホームラン数を記録しました。陸上では桐生選手が100mで日

本人初の9秒台を記録し、日本記録を書き換えました。

また、8月に行われた世界陸上では、男子主将として、川内優輝選手が出場し、感動的な走りを見せてくれました。

川内選手は、今後、久喜市くき親善大使として、自身の活動を通じてのPR等、様々な場面で市の魅力を発信していただくこととなっております。

3月25日の第3回久喜マラソン大会ではゲストランナーとして出場する予定となっておりますので、皆様方におかれましても、当日、沿道での声援など、ご協力をいただきましたら幸いです。

これからも、市民の皆様が「久喜に住んでよかった」と実感いただけるよう、全力で取り組んでまいりますので、久喜市シルバー人材センター会員の皆様におかれましては、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びにあたりまして、公益社団法人久喜市シルバー人材センターの益々のご発展を心からお祈り申し上げます、会員の皆様におかれましては、より一層御活躍いただける1

年となりますように切に願い、新年のごあいさつといたします。

あけましておめでとうございます

- 理事長 齋藤 忠雄
- 副理事長 田口 英夫
- 常務理事 若山 忠司
- 理事 宮内 敦夫
- 〃 岡野 みち子
- 〃 亀田 文江
- 〃 杉山 佳佑
- 〃 曾和 健
- 〃 高橋 三男
- 〃 友田 貴意知
- 〃 内藤 陸央
- 〃 内藤 洋子
- 〃 町田 義治
- 〃 菊地 雅之
- 監事 中島 康夫

# 会員の声

## 栗橋公民館夜間管理

渡辺 新一 (栗橋地区)

私は、久喜市シルバー人材センターにお世話になって5年目になりました。退職後、第2の人生は悠々自適のマイウエーと、過去の経験を手繰る日々でした。高校2年で17歳の時、栗橋から宮城県の松島まで自転車ですりリングした昔の思い出が強烈な刺激として甦り、サイクリングを楽しみました。

そんな時、町内の先輩から「俺、今の職場を離れるんだ。お前シルバーで働く気はないのか？」の誘いを受けて、言われるままに応募しました。栗橋公民館の夜間管理も決まり、月日は早くも5年目で、残り少なくなりました。この間、多くの人たちと交流し、趣味拡大では目をみはるほど発展し、いまでは蕎麦栽培にまで農業本職もどきにまで染まりました。八甫交差点で真っ黒になりコマメで畑を

耕作しているのが私です。

まったく不器用な私、ちょっと前までは白魚のような文化指が、今では根生姜のような黒太い指で長く繋がった蕎麦が作れるようになったのも、仲間のアドバイスがあったからです。栗橋地区の赤花そば会の「ときめき会」からも誘いの声がかかり、お手伝いでより多くの人との交流が広がりました。

このシルバー会員の声を読むたびに、老いはまだ先、人生これから花が咲く季節だと、皺寄せた黒い指先に言い聞かせ、趣味に本業に精を出し、額に汗を流して頑張っています。シルバーで働ける機会をいただき、ありがとうございます。



## 地球のひげそり

原 節夫 (菖蒲地区)

私はシルバー人材センターの会員になって地球のひげそり、つまり草刈を始めてまる3年がたってしまったと思うとともに、よくまあこれまで頑張つてやって来たなあと自負しているところです。それとと言うのも真夏の35度を超える炎天下でも、又寒い北風が吹く中においても黙々と仕事を続けて来た事です。そ

こまでして働く事はないよと言葉が時折頭の中をよぎる事がありました。持つて生まれた性分と言うか負けず嫌いなところがあって、あの人ができて俺にできない事はないとの思いがあり今に至っているところです。

尚、現場によっては、背たけが3メートルを超える程のヨシがびっしりと生えていたり、又、ヤブガラシがあたり一面を覆っていたりと大変な場所がありますが、そんな時には班の皆で力を振り絞つてやり遂げます。するとやり遂げた後の達成感と言うか何とも言えない心良い疲労

感に浸ります。

又、そんな時の休憩時間となると、それぞれが若いころの話や孫の自慢話などに花が咲き休憩時間を超えてしまう程です。このようなチームワークの良さや良い人間関係それに協調性を大事にして、これからもやりがい生きがい、働く喜び地域社会への参加を心のよりどころにして頑張つて行きたいと思っております。

今日も市内のどこかで地球のひげそりの為に、かん高いエンジン音が鳴りひびいていることでしょう。



## アウチエラソング(往事の分かれ道)

宮原 和正 (鷲宮地区)

シルバー人材センターに入会

して3年後に鷺宮公民館の夜間受付業務を紹介され、4名のローテーション（曜日が偏らないので公平）で就業しています。残念ながら4名全員が揃うのは年1回の防火避難訓練だけですが、仕事を分かち合うことにより高齢者が無理なく働ける良い仕組みだと思えます。また、発注者（鷺宮公民館）も休みの心配がなく安心でしょう。夜間一人で館内を見回るのはちよっと怖いですが、地域社会と関わり合っている喜びがあります。物忘れ防止にオリジナルチェックシートを作成してダブルチェックし、メモも残しています。

一昨年2月に「接遇力向上研修」を受講し、立場を替えて利用者の立場から「利用者満足」を考え、利用者が想定するより少しでも良いものを提供するよう学びました。必ず挨拶し、事前に大ホールの照明点灯、和室の冷暖房など「ありがとう」と言われるように利用者（市民）ファーストを心掛けています。言うのは簡単ですが…。

プライベートでは、「お腹が出てきたね」と妻に勧められ「ミ

ニテニス教室」に参加して1年以上になります。地域の人達のグループにも入れてもらい楽しく練習していますが、なかなか上達せずにお腹だけは増々出てきました。現在は間食を控えています。この投稿を機会に鷺宮ゴルフ大会に参加することを目標に鍛えたいと思っています。



**熱中しているもの**

松本 春勇（久喜地区）

定年後にやりたいと思っていた事のひとつが、我が家の周りに生えている植物の名を知る事でした。

定年と同時に久喜市の市民大に入学し、野草に詳しい先生と野草に興味のある先輩や仲間と巡り会えました。先輩方が立ち

上げた野草の会に入会し、観察にのめり込みました。野草とはごく自然に野や山に生えている草のことです。田、畑、庭などに生えていると、生活の妨げなり、雑草と呼ばれるものもあります。昭和天皇のお言葉「雑草という名の草はない」のごとく、すべてのものに名がついています。

観察場所は久喜駅の東側です。自宅前を流れる中落堀川の両岸や吉羽天満宮を中心とした吉羽地区をホームグランドとしています。観察を始めた3年間程は、週に最低2〜3回は吉羽地区を観察しました。

確認出来た野草の数は、観察を始めた平成18年は140種程でしたが観察場所を久喜駅西側方面へ広げ、また、平成22年3月の久喜市合併後は菖蒲、鷺宮、栗橋と観察を広げたため現在は久喜市全体で400種を越える程になりました。

定年後の余暇にと思っていた植物調査にこれほど凝るとは思いませんでした。現在、一番嬉しい事は、目にする野草の名前がほとんど分かる事です。しか

し最近歳をとってきたので、とっさに名前が出ず、「あれだよ、あれ」が多くなり困ったものです。

私が入っている野草の会は平成二十四年にNPO法人となり、「久喜の自然を愛する会」の名称で活動を行っています。会員による毎月の野草保護地の除草やキクイモの栽培。3月に行っている野草写真展、年4回の野草観察会、正月の七草がゆを食べる会は「広報くき」で市民の皆さんに参加を呼びかけ、多くの方々と自然に触れ、自然を楽しんでいます。

今後も、ますます自然に親しみ写真を撮りながら野草の観察を続けたいと思っております。



オグルマ

## お客様訪問

シルバーでは、市内の公共団体・企業・家庭などの発注者から色々なお仕事を請け、多くの会員が毎日就業しています。その様な中から、発注者を訪問し、発注者の声を聞いてまいりました。

今回は、久喜市北中曾根にございます、KN村田産業株式会社をご紹介します。KN村田産業(株)様は、釘とねじの製造、木造住宅用接合金物の製造を行っている会社です。

## お客様の声

KN村田産業株式会社  
東日本生産部  
次長 高倉 康一様

平成28年8月より、久喜市シルバー人材センターにお世話になっております。それまでは、複数の派遣会社と契約しておりましたが、紹介人数が少なかったり、直ぐに辞めてしまったり

と、慢性的な人員不足でした。

最初は、シルバーの方に仕事が終わるか不安もありましたが、実際に働き始めると、若い人と変わらずお元気ですし、何より休みが少なく、定着率も高かったため、安心して仕事を任せることが出来ました。昨年の10月から新たな工程も委託を開始し、現在、17名の方に働いて頂いております。シルバーの方を多く受け入れることで、久喜市の活性化にも繋がれば良いと思います。



## 美味しかった「イカメンチ」

12月5日(火)、女性会員が交流し親睦を深めることを目的に、女性部会の主催による料理教室が開催されました。

講師に、会員の中西清敏さん(菖蒲地区)を招き「イカメンチ」をつくりました。「イカメンチ」はこの辺りでは馴染みがありますが、青森県津軽地方のソウルフードとして食べられている、イカ・玉ねぎ・キャベツなどを混ぜ合わせた揚げ物です。

その他にも、お稲荷さんや具だくさんのけんちん汁を作り、美味しい料理を食べながら話しながら花が咲いた楽しい1日でした。



料理教室

## 一人一会員入会促進運動

家族や友人の方を会員に勧誘する入会促進運動を展開しておりますが、この度「新規会員紹介カード」により、3名の方が会員として登録されました。そこで、紹介カードにより新規会員を勧誘していただいた会員に、齋藤理事長から感謝の言葉とともに記念品が進呈されました。

60歳以上の人口に占める当センターの入会率は18%と、他のセンターに比べても低くなっています。

皆様の勧誘により、一人でも多くの会員を増やしたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。



紹介者に記念品贈呈

**<配分金と税金について> 配分金収入に対する所得税法上の取扱いについて**

会員の皆様が受ける配分金は、所得税法上「雑所得」とされ、受け取った配分金収入は確定申告をする必要があります。

配分金収入に対しては、「家内労働者等の事業所等の所得計算の特例・租税特別措置法第27条」より、65万円を上限として最低保証必要経費が認められます。

なお、配分金収入と給与所得（シルバー派遣による賃金）がある場合は、65万円から給与所得控除額を控除した残額が配分金に係る必要経費となります。

また、公的年金を受給している場合は、配分金収入とは別に公的年金等の控除が受けられます。

**【計算例示】** ※会員A（66歳）の年間収入は次のとおりでした。

- ① 配分金収入 70万円
- ② 給与収入 50万円（シルバー派遣による賃金）
- ③ 公的年金収入 130万円

**計算方法** (1) 配分金収入及び給与収入に係る計算

- ・給与収入（50万円）－給与所得控除額（50万円）＝0円 ……………（A）
- ・配分金収入（70万円）－必要経費（65万円－50万円）＝55万円 ……………（B）

(2) 公的年金に係る計算

- ・公的年金収入（130万円）－公的年金等控除額（120万円）＝10万円 ……（C）

※公的年金等控除額は、受給者が65歳未満と65歳以上が異なります。

(A) + (B) + (C) = 0円 + 55万円 + 10万円 = 65万円

・所得金額（65万円）－基礎控除（38万円）＝27万円

・課税所得金額（27万円）×税率（5%）×復興特別所得税（102.1%）

＝13,700円（100円未満切捨て）…税額

◆平成29年中に配分金の支払を受けた方には、配分金支払証明書を2月上旬に郵送いたしますので、確定申告にご利用ください。

◆配分金収入、給与収入、公的年金収入以外の収入がある場合の所得金額及びその他の控除額については、春日部税務署（048-733-2111）へお尋ねください。

**適正就業ガイドラインについて**

シルバー人材センターで働く会員の適正就業を確保するため、従来から、派遣と請負の区分等に留意しながら、その適正な契約に沿って請負又は派遣による就業形態を実施してきたところですが、全国的にシルバー人材センターが締結している請負契約の中には、実態として派遣就業が行われており、依然として国から強い改善指摘を受けています。

こうした中、国の審議会や国会の審議で、シルバー人材センターにおける適正就業ガイドラインの作成を求める厳しい意見が出され、国では「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」を作成し、シルバー会員へのガイドラインに沿った業務運営を図るよう指導がありました。今後ガイドラインを会員の皆さんに配布する予定です。

シルバーで働く基本となりますので熟読をお願いします。

（事務局）

**シルバー農園**

**体験会員募集!**

「家庭菜園を始めた」…でも「何から始めたらいいかわからない」と思っている方、シルバー農園で野菜作り体験をしませんか。先輩会員が、野菜の育て方の基礎を親切にアドバイスします。

共働・共助の精神のもと、安全でおいしい野菜作りに興味のある方は事務局までお問い合わせください。



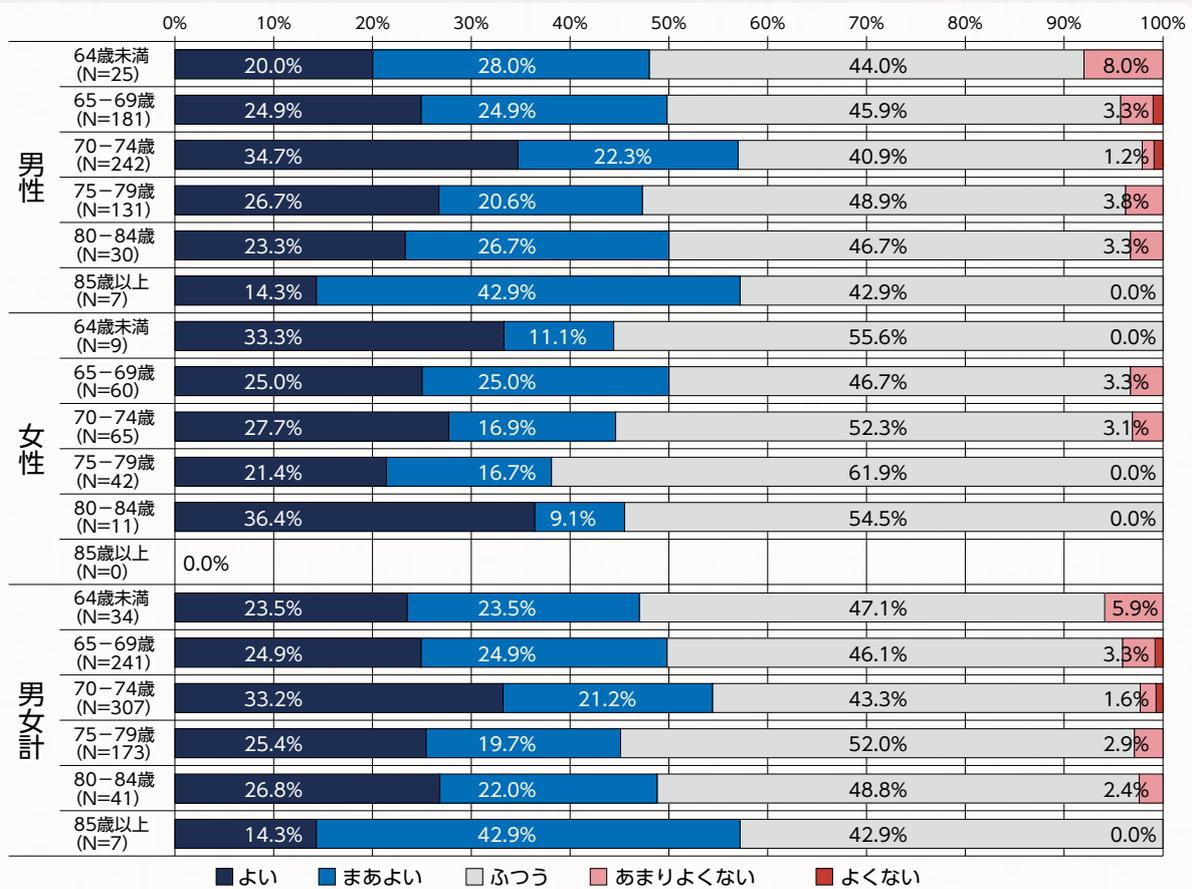
アンケート結果報告

昨年2月に実施した、「健康生活アンケート」の結果がまとまりました。アンケートの中で会員が回答した主観的健康感の結果です。ほとんどの年代で「よい」と「まあよい」の合計が、4〜5割を占め、国民生活基礎調査よりも1〜3割程度優れていました。

この結果の解釈は、1つは元気な高齢者がシルバーに入会している実態を反映したといえます。他方で、75歳以降の会員は平均で7年以上在籍していますので、シルバーでの活動継続が健康状態の維持に貢献している側面を示したと考えられます。

このように、シルバーでの活動が会員の健康維持・増進に役立っていることが分かりますが、1回のアンケートでは正確なデータが得られません。今後もアンケートを継続していきますので、皆さんのご協力をお願いいたします。

久喜市シルバー人材センター会員の主観的健康感



編集後記

あけましておめでとうございます。会員の皆様には、お元気で新しい年を迎えられましたことをお慶び申し上げます。「シルバー久喜」第8号をお届けいたします。内容も興味ある会員の声、活動状況、確定申告時の配分金の取扱い等、参考になる記事掲載いたしました。又本号は、いつもお世話になってる企業の方の紹介等も取り上げさせていただきますました。

お正月におせち等をいただきながら、ゆつくりと楽しくお読みいただければと思います。

今年も安全第一を最優先に考え、健康に留意して事故のないように、楽しく仕事をしていきましょう。

部会員 杉山佳佑

「シルバー久喜」第八号  
 発行日 平成三十年一月一日  
 編集 普及啓発部会  
 杉山佳佑 亀田文江 遠藤明  
 岩本勝司 杉山賢司 原田美智子  
 宮原三郎